

令和2年8月13日(木)
石川県商工労働部労働企画課
社会人UIターン促進G・前寺
225-1672(内線4513)

「いしかわ採強道場2020」の募集について

1. 趣旨

若者の大手企業志向や人材流動化に加え、長期化が予想される新型コロナウイルス感染拡大の影響という複雑な状況のもと、新卒学生・中途人材採用力強化に向け、県内企業の全業種を対象に受講生を募集しています。

2. 募集期間

8月24日(月)まで

3. 対象者

県内企業の経営者、人事担当者(20名程度 1社2名まで受講可)

4. 概要

講師：千葉商科大学国際教養学部准教授 常見陽平氏

内容：第1回 9月3日(木)

新卒・中途採用に向けた今後の採用戦略・戦術・戦闘の基本策定

第2回 9月10日(木)

採用担当者のあるべき姿とは？

第3回 10月15日(木)

自社の魅力を再発見し、求める人材像を描く

第4回 11月21日(木)

最終成果発表会

場所：石川県本多の森庁舎 会議室

(金沢市石引4丁目17番1号)

5. 主催

石川県、いしかわ就職・定住総合サポートセンター

※ 参考：昨年度 10月10日～11月28日 計5回開催 35社45名参加

人口減、人材獲得競争の中で
新卒学生・中途採用に悩む
すべての経営者、採用担当者のみなさまへ！

採用力強化
受講生募集！（1社2名まで／書類審査あり）

中小企業が 採用の道端

2020

全業種対象

9月3日(木)
開講！

全4回
受講無料

監修・講師

常見 陽平

千葉商科大学国際教養学部准教授
働き方評論家／いしかわUIターン応援団長

「なぜ、あの中小企業ばかりに優秀な人材が集まるのか？—お金をかけずにできる、とっておきの採活」(日刊工業新聞社)「就活」と日本社会 平等幻想を超えて」(NHKブックス)など著書多数

主催／石川県、いしかわ就職・定住総合サポートセンター(ILAC)

座学を
実践する
現場に
必要な
最新の
採用の
ポイント
を学ぶ

時代
は
複雑
で
多岐
に
わた
る

一、**道場形式で、実践的な採用力を身につけられる!**

中小企業に対応したすぐに活かせる内容で、座学と演習を通じて切磋琢磨していきます。

二、**講師・受講生同士のネットワークを築くことができる!**

講師・採用担当者が出会い、課題を共有し、相互に解決のヒントを与え合う場を提供します。

三、**情報氾濫の中、**

知っておくべき最新の人材採用ポイントを学べる!

現場とデータ双方の豊富な情報源から講師がセレクトし、多角的に採用の今を伝えます。

足腰の強い採用担当者になろう！
自分事で挑むビジネスパーソンであらう！
そのために大切なのはスキル（知識・技術）と、ウィル（意志）。
ともに学びましょう！

講師からのメッセージ

最先端の人材マネジメントを、 石川県から

～昨年度「いしかわ採強道場2019卒業文集」より～

「仕事を楽しんでいる瞬間はどんなときですか？」

就活中の学生がよくある質問だ。この質問にどう答えるかは、採用担当者の腕の見せ所だ。その企業ならではの仕事の醍醐味、組織の魅力を自分の言葉で語れるかどうかを試される。

さて、本音ではどうだろう？感謝されたとき、成長したと感じたとき、何か困難なことを成し遂げたときなど様々な答えがあるだろう。私の場合は「自分の仕事に興味をもってもらったとき」だということにふと気づいた。

「お前、最近売れているやん。どうやって数字組み立ててるん？」

新人時代のことだった。突然、鳴った内線電話の主は関西営業部の先輩だった。営業日報で私の数字をチェックし、電話してきたのだ。営業のエースはここまで市場の変化に敏感なのかと感動しつつ、私の仕事に興味をもってもらったことに感激した。

自分の仕事について社内外から問い合わせを頂いたのは、バンダイで採用担当をしていた頃である。他社やメディアから話を聞かせてほしいという依頼が相次いだ。合同説明会でプレゼンをしていると、学生の後ろに他社の採用担当者が多数、偵察にきていた。

ロックフェスのような会社説明会、就活を応援する歌とムービーの発表、エンタメ企業らしくないビジネス色の強いパンフレット、累計1500名を動員したワンデーインターンシップ、社員と一緒に1泊2日で徹底的に人生について語り合う内定者研修など、いま思うと、新しい取り組みに貪欲に取り組んだ。経営陣も採用活動に注目しており、話を聞きたいと声をかけてくれたこともあった。

もちろん、私の力だけでやりきったことではない。アレオレ詐欺をするつもりはない。ただ、人材マネジメントにおける新しい取り組みは、他社も関心を持つものなのだ。

年末年始にお会いした人材マネジメントの諸先輩方からもそんな話を聞いた。富士通がいわゆる「一芸採用」である「チャレンジ・アンド・イノベーション採用」を導入したとき、「ウチも真似させてください」と連絡してきたのは、ソフトバンクの孫正義氏の秘書だったという。孫氏がニュースを見て「これだ」と思ったのだそうだ。

リクルートの歴代人事部長、マネジャーたちと食事をする機会があったが、「事件」や多額の借入金による負のイメージが強い時期に、たくさんの企業から勉強させてほしいという問い合わせが相次いだという。たしかに、その頃の同社は社内フリーエージェント制度、役職を既得権にしない任用型人事制度、地域・期間限定社員など、尖った制度を取り入れていた。

人口減少時代に直面している上、企業を取り巻く環境が変化しビジネス上の課題も高度化、複雑化する中、人材マネジメントに対する関心は高まっている。経営者にインタビューするという課題を出したが、その際にも人材マネジメントに関する危機感をひしひしと感じたことだろう。

企業の規模や知名度に関係なく、「勉強させてほしい」と大手企業に声をかけられるような新しい取り組みにチャレンジしてみないか。受講生の皆さんに、そう問いかけたい。

人材マネジメントについて学んでいる人にとっては、私の教える内容は新鮮味が薄いかもしれない。しかし、「いしかわ採強道場」は「セミナー」でも「ワークショップ」でもなく「道場」である。学ぶ場であることはたしかだが、互いに高め合う場である。

「いしかわ採強道場」に終わりはない。日々、スキルを上げつつ、新しい取り組みにチャレンジしてほしい。

「人材マネジメントのことは、石川県内企業に学べ」

そう言われるように、人材マネジメント先進県を目指してトライを続けてほしい。私も皆さんの取り組みを教えてもらう日を楽しみにしている。

監修・講師

常見 陽平

千葉商科大学国際教養学部准教授
働き方評論家

いしかわ採強道場監修・講師

いしかわ UI ターン応援団長

いしかわ移住応援特使

1974年生まれ、北海道札幌市出身。一橋大学商学部卒業、同大学院社会学研究科修士課程修了（社会学修士）。リクルート、バンダイ、ベンチャー企業、フリーランス活動を経て2015年4月より千葉商科大学国際教養学部専任講師。2020年4月より現職。専攻は労働社会学。

大学生の就職活動、労使関係、労働問題、キャリア論、若者論を中心に、執筆・講演など幅広く活動中。平成29年参議院国民生活・経済に関する調査会参考人、平成30年参議院経済産業委員会参考人、厚生労働省「多様な選考・採用機会の拡大に向けた検討会」参考人、第56回関西財界セミナー問題提起者などを務め、政策に関する提言も行っている。ラジオ番組bayfm「POWER BAY MORNING」レギュラーコメンテーター。

「いしかわ採強道場」は2015年の開始以来監修・講師を担当。2016年4月より「いしかわUIターン応援団長」、2019年10月「いしかわ移住応援特使」に就任。著書に「なぜ、あの中小企業ばかりに優秀な人材が集まるのか？ーお金をかけずにできる、とっておきの採活」（日刊工業新聞社 B&Tブックス）「僕たちはガンダムのジムである」（日経ビジネス人文庫）「なぜ、残業はなくなるのか」（祥伝社新書）「社畜上等！ー会社で楽しく生きるには」（晶文社）「僕たちは育児のモヤモヤをもっと語っていいと思う」（自由国民社）など多数。

TSUNEMI Yonei

昨年度受講生からのメッセージ!

2015年開始以来、5年間で104社153名の受講実績!!

男性・機械 いしかわ採強道場には「何をすべきか」のヒントがたくさんあります。中小企業はやるべきことをやれていない分、やれば必ず効果が出ます。当社もそうでした。

男性・福祉 いしかわ採強道場で得た最も大きな気づきと学びは、「採用活動とは営業である」こと。「商品」である自社に興味を持ってくれそうな人をターゲットし、自社の魅力を伝え、自社のファンを増やしていく。この視点を得たことで、戦略を立てるための指針がはっきりしました。

女性・水産 まったく違う業種でも実は同じ悩みを持っている。みんな考えて意見を交換。参考になることばかりで実践したくなる。毎回行くのが楽しみでした。

女性・不動産 自分では当たり前と思っていたことが実は企業の魅力だったことを知るきっかけがあり、自分の会社がもっと好きになりました!

他、多数の声が寄せられています!

全4回の連続講座にて実施!

よう!
で~

策定

がりの中で~
情報収集&おしゃれ術

持とう —
対象を描く

なる場合がございます。

でお送りください。

当:矢部・多賀・松本)